

# 世界遺産登録まであと一歩

## 大解剖 キウス周堤墓群

《北海道・北東北の縄文遺跡群》の構成資産の一つである

市内中央地区の《キウス周堤墓群》。

昨年9月、ユネスコの諮問機関である

《イコモス》の現地調査が実施され、

世界遺産登録までの道のりが終盤に差しかかり、

わたしたちのまちにも、

世界遺産が誕生する可能性がぐっと近づきました。

特集では改めて遺跡の魅力についておさらししながら、

キウス周堤墓群の《今》をお伝えします。

写真提供：吉田 裕史洋氏

### 史跡キウス周堤墓群

#### 周堤墓とは

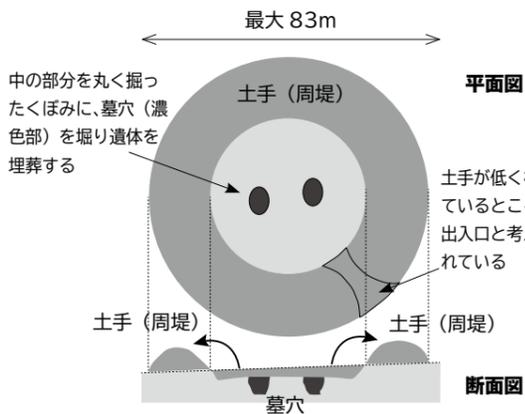
周堤墓は、縄文時代の集団墓地です。円形に掘ったくぼみの周りに土手(周堤)を積み上げたもので、ドーナツのような形をしています(左図)。周堤で囲まれた区画の中に複数のお墓を造り、遺体を埋葬していった。このことから《周堤墓》と名付けられています。周堤墓は縄文時代後期の一時期(約3200年前)にのみ造られたものです。北海道固有のとても珍しい遺跡で、特に千歳から数多く見つかっています。

#### キウスの場所と地形

千歳駅から国道337号を長沼町に向かい約10km、道東自動車道の千歳東インターチェンジを越えてすぐ、国道の両脇に林が迫った場所がキウス周堤墓群です。史跡の一部分を国道が貫いているため、そこを通行するとき、両脇に広がる周堤墓の凹凸地形を間近に確認することができます。

この場所は、馬追丘陵の西側のふもと、標高15〜20mの緩やかな斜面上にあります。また、この付近はキウスのほかにも多数の遺跡が発見されており、《遺跡銀座》といえるような地域です。当時、遺跡西側の低地には広大な湖沼、湿地帯が広がり、食料となっていた動植物が豊かな場所だったと考えられています。

キウス周堤墓群は現在、9基の周堤墓を含む約11ヘクタールが国の史跡として指定され、《北海道・北東北の縄文遺跡群》の構成資産の一つとして世界遺産登録をめざしています。



#### キウスの特徴と価値

キウス周堤墓群の最大の特徴はその大きさにあります。9つの周堤墓のうち、最も大きな1号周堤墓(前ページ写真)は83mの大きさを誇ります。他の遺跡で見つかっている周堤墓は一般的に10〜30mであることから、特大サイズなことが分かります。また、周堤の頂部からその下のくぼみの底までの深さが4.7mもある2号周堤墓も圧巻です。



写真提供：吉田 裕史洋氏  
 2号周堤墓の全景

この周堤墓を造るのに約3kmの土を掘って積み上げたとの試算があります。機械や金属の道具を使わず、仮に一人一日一立方メートルを掘って積み上げた想定すると、25人がか

りて120日もかかる計算になります。このような規模の大きな周堤墓が群集していることが、キウスの最大の価値だといえます。また、江戸時代中ごろと縄文時代終末の2層の火山灰に厚く覆われているものの、埋まりきることなく現在でも地表からその形を見ることができるといえます。貴重であるといえます。

#### キウスの保護と調査・整備

キウス周堤墓群は、明治時代からそのくぼみの存在が知られ、学会でも発表されてきました。なかでも、アイヌのチャシ(砦)とする説が有力で、昭和5年には《史蹟キウスノ「チャシ」》として、史蹟名勝天然記念物保存法にもとづき仮指定され、遺跡として保護されてきました。昭和39・40年に1・2号周堤墓の部分的な発掘調査が行われ、くぼみの中で、縄文時代の終わりに降った火山灰層の下の土から墓標とみられる立石のある墓穴のほかに、土器

や石器、土偶が発見されました。また、周堤墓のすぐそばの墓穴からは石棒(左の写真)も発見されました。これによりキウスが縄文時代の集団墓と判明したのです。その後、昭和54年、8基の周堤墓を含む約5ヘクタールが《キウス周堤墓群》の名称で国の史跡に指定されます。

さらに平成21年、千歳市は文部科学省からキウス周堤墓群の管理団体として指定されます。これにより、市として史跡の保存・管理および公開・活用について取り組むことになり、平成28年にはキウス周堤墓群の《保存管理計画》を策定しました。この計画は、本質

的価値を損なうことなく適切な保存管理を行うことにより、史跡を次世代へ確実に継承していくための指針を定めたものです。また、計画策定と並行し、史跡周辺の範囲確認のための試掘調査・現況測量調査を実施しました(平成25〜29年)。試掘調査は、国道東側の史跡周辺部で行われ、これにより、周堤墓



1・2号周堤墓から出土した土器・石器(昭和39,40年)

と同時期の土器・石器などが出土し、遺跡の広がりを把握することができました。大きな成果として、6号周堤墓に隣接した地点に新たな周堤墓が1基(14号周堤墓)見つかっただけでなく、これら結果を基に、令和元年10月に約6ヘクタールが追加指定され、9基の周堤墓を含む約11ヘクタールに史跡の範囲が拡大しました(左図)。これら試掘調査から追加指定に至る背景には、近隣の住民の皆さんや土地所有者の多大な理解と協力がありました。

4号周堤墓外縁部の墓穴から出土した石棒(昭和40年・市指定文化財)



先端には模様がかまれています



## ボランティアガイドに参加してみませんか

キウスの特徴や価値、千歳の魅力を皆さんに伝え、まちを盛り上げましょう。



キウス周堤墓群が世界遺産に登録されると、市内外からさらに多くの人が見学に訪れることが見込まれます。キウス周堤墓群には案内看板やパンフレットを設置しているものの、それだけでは伝えることができない多くの魅力があります。そこで、教育委員会では、令和3年度からの市民協働で現地を案内するボランティアガイド事業を行う予定です。まずは下記の日程でガイド養成講座を開きますので、埋蔵文化財センターにお申し込みください。

【とき】2/21(日)、3/7(日)、3/20(土)

【ところ】総合福祉センター402号、キウス周堤墓群ほか

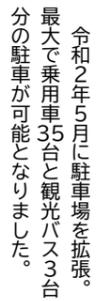
最近のキウス周堤墓群の「ママチくん」を知らせします。



千歳市文化財キャラクター「ママチくん」

## 保存活用計画の策定

令和元年10月に史跡の範囲が拡大されたことを受け、令和2年8月、数度にわたる有識者会議を経て、キウスの《保存活用計画》を策定しました。この計画にはキウスの保存活用を適切に実施するための方針が示されており、今後の史跡整備の基盤になる大切なものです。今後はこの計画をもとに《整備基本計画》を策定し、キウスの価値や魅力を存分に伝えるための環境づくりを進めていきます。



令和2年5月に駐車場を拡張。最大で乗用車35台と観光バス3台分の駐車が可能となりました。

## 現地来訪者数 2500人超え

令和2年には、同年4月から設置した入場者カウンターなどによる集計から2500人を超える見学者が訪れたと推計されています。今年、世界遺産に登録された場合、さらに多くの人が訪れることを想定しています。

## Infomation

埋蔵文化財センター常設展示室の様子。縄文時代の遺物や近世の丸木舟など貴重な埋蔵文化財を見ることができます。



埋蔵文化財センターホームページ



Twitter 公式アカウント

※センターおよびキウスまでの公共交通機関はありません。

埋蔵文化財センター／長都42-1(旧長都小中学校)

見学時間：9時～17時 入場料：無料

☎(24)4210 ☎(21)9301

㊤㊤㊤・年末年始はお休み(毎月第2㊤は開室)

## 子ども版パンフレットを作成

令和2年12月、子どもたちに千歳の誇る歴史を伝えたいという思いから「分かりやすい」、「行きたくなる」ようなデザインのパンフレットを作成しました。縄文遺跡群の地図も載せています。埋蔵文化財センターでお渡ししていますので、ぜひご覧ください。



## TVアニメに初登場

令和2年6月、アニメ「邪神ちゃんドロップキック 千歳編」に、主人公たちが訪れた場所として描かれました。登場シーンはわずかでしたが、全国に放映され、これまでキウスを知らなかった方にPRする機会になりました。



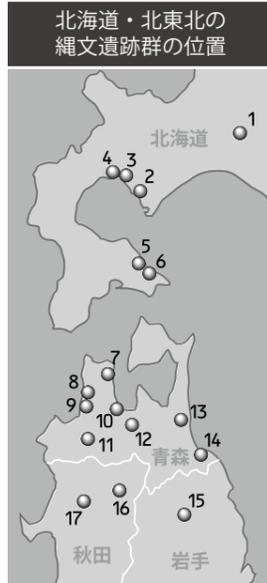
キウス周堤墓群

## 周堤墓内に墓穴の位置を復元表示

昭和39・40年に行われた1・2号周堤墓内の発掘範囲と発見された墓穴の位置を令和2年6月にウッドチップを使って地表面に表示しました。これにより、周堤内のお墓の位置と大きさを実感することが可能となり、周堤墓の具体的な内容を伝えることに役立っています。



写真提供：吉田 裕史 氏



- 1.キウス周堤墓群(千歳市) / 2.北黄金貝塚(伊達市) / 3-4.入江・高砂貝塚(洞爺湖町) / 5.大船遺跡(函館市) / 6.垣ノ島遺跡(函館市) / 7.大平山元遺跡(外ヶ浜町) / 8.田小屋野貝塚(つがる市) / 9.亀ヶ岡石器時代遺跡(つがる市) / 10.三内丸山遺跡(青森市) / 11.大森勝山遺跡(弘前市) / 12.小牧野遺跡(青森市) / 13.ニツ森貝塚(七戸町) / 14.是川石器時代遺跡(八戸市) / 15.御所野遺跡(一戸町) / 16.大湯環状列石(鹿角市) / 17.伊勢堂岱遺跡(北秋田市)

北海道・北東北の縄文遺跡群 縄文時代、津軽海峡にまたがる北海道西部から北東北の地域には、同一の文化圏が広がっていました。世界遺産登録をめ

世界遺産とは 世界遺産とは、地球の営みと私たち人類の歴史によって誕生した、過去から現在、そして未来に受け継がれていく貴重な宝です。この宝は全世界で共有し、保護していかなければなりません。世界遺産には、建物や記念物、遺跡などの《文化遺産》、地形や地質、生態系などの《自然遺産》、両方の性質を持った《複合遺産》があります。現在、全体の登録数は1121件で、そのうち日本の世界遺産は23件です。

さす《北海道・北東北の縄文遺跡群》は、1万年以上にわたって続いたこの地域の縄文文化の変遷を具体的に示す代表的な17の遺跡で構成され(左図)、キウス周堤墓群は、その構成資産の一つとなっています。《縄文遺跡群》は大きなムラや貝塚、お墓など遺跡によって、時期や内容がさまざまです。これらの遺跡を通して見ると、縄文文化の始まりから終わりまでのムラの様子や移り変わりや自然との関わりなどがどのように変化し、適応してきたかを説明することが出来ます。この点に世界的価値を見出し出しているのです。この中で、キウス周堤墓群は、縄文時代末ごろのお墓に関して説明する役割を担っています。



全体を縄文土器に見立て、北海道と北東北の形を縄文時代のパワーを象徴するような渦巻きの形でつないでいます。

## 縄文遺跡群のこれまでの歩みと今後

- H18(2006) 文化庁《暫定一覧表》への記載が自治体からの提案方式になる
- 文化庁へ《青森県の縄文遺跡群》、《秋田県のストーンサークル》の提案書提出
- H19(2007) 北海道・北東北知事サミットで4道県の共同提案正式合意
- 資産名称を《北海道・北東北の縄文遺跡群》に決定、文化庁へ提案書提出
- H20(2008) 文化庁の文化審議会文化財分科会で暫定一覧表への記載決定
- H21(2009) ユネスコ世界遺産委員会事務局において《世界暫定一覧表》への記載決定
- 縄文遺跡群世界遺産登録推進本部などの機関設置
- H24(2012) 《キウス周堤墓群》ほか2遺跡が縄文遺跡群の構成資産に追加
- H25(2013) この間、4回文化庁へ《世界遺産登録推薦書の協議案・素案など》を提出するも、ユネスコへの推薦は《見送り》
- H29(2017) 文化庁の文化審議会世界文化遺産部会で世界文化遺産推薦候補に選定
- H30(2018) 閣議で「縄文遺跡群」の推薦書をユネスコへ提出することが了解される
- R元(2019) 政府が「縄文遺跡群」の推薦書をユネスコへ提出、ユネスコの諮問機関であるイコモスが現地調査を実施
- R2(2020) 今後の予定
  - イコモスからユネスコへ評価結果の勧告
  - 世界遺産委員会において登録の可否を審議

※推薦候補準備の管理台帳。

## 世界遺産登録への道のり

平成19年の《北海道・北東北の縄文遺跡群》という資産名称の決定と文化庁への提案書の提出から今年で15年目となります。キウス周堤墓群が構成資産に加わったのは平成24年です。翌年の平成25・27・29年まで、文化庁へ世界遺産登録推薦書の協議案・素案を提出してきましたが、残念ながらユネスコへの推薦は見送りが続き、この間、推薦書の見直しがなされてきました。



キウスのガイドの様子

今後の動向は、新型コロナウイルスの影響で不透明ではありますが、早ければ、本年5月ごろにイコモスからユネスコに対して勧告がなされ、夏ごろに開かれる世界遺産委員会で、登録の可否が審議されます。世界遺産登録まであと一歩です。